

# 「学力日本一秋田の未来は」

## 概 要

秋田県は2007年、8年、9年に実施された文科省の全国学力調査の結果、3年連続して全国一位である。2010年度の抽出調査でも1位を維持している。かつて1950年代から60年代にかけて実施された文部省の学力テストでは、秋田県は最下位であった。その後、県内教育関係者の努力で日本一の位置を維持している。このこと自体は誇るべきことだが、その背景や秋田県の未来を考えると、手放しでは喜べない問題点がみえてくる。その象徴が日本一の人口減少県としての秋田の現実である。

高い学力は優秀な成績の子どもたちを都市に送り出すことに結びつく。学力が高くなればなるほど秋田から子どもたちがいなくなり、子どもたちが担う未来もまた秋田から失われる、というジレンマを抱えることになっていないか。このことに対して、秋田における雇用環境の悪化が理由にあげられることが多い。しかし、もっと本質的な問題が日本の学校教育になかにあることを、秋田県をスタートに、全国各地で実施してきた少子高齢・人口減少に関する実態調査によって見出した。

特に、学力最下位の沖縄県では、多くの子どもが生まれ育ち、沖縄で生きることを望む子どもが多い。他方、学力日本一の秋田県では人口減少が進行する。この一見相反する二つの現実と、秋田の子どもも沖縄の子どももともに吸収し続ける東京巨大都市圏の現実とを対比することにより、これまで懸命に高める努力をしてきた学力自体に内在する根本的な問題点をデータとともに明らかにしたい。

迫りくる社会の問題を解くために必要な学力とは何か。全国统一基で図ることができる学力ではないのでは。このような問題意識のもと、これから育つ秋田の子どもたちに必要な学力とは何かを、敗戦後の日本に誕生して、時代と社会の変化に挑み続けてきた社会科教育の観点を紹介しながら、参加者のみなさんとともに考えていきたい。

**日 時**：平成22年9月29日（水）15：00～16：30（～若干の質疑応答）

**場 所**：秋田大学60周年記念ホール（教育文化学部3号館-145教室）

**テーマ**：「学力日本一 秋田県の将来は」

**論 者**：静岡大学教授 馬居政幸

**参加料**：無料

参加希望者は、氏名・年代・所属・連絡先を下記申込先までお知らせください。

\*当日参加の方には資料等お配りできない場合があります。

### 【お申し込み・お問い合わせ先】

秋田大学教育文化学部社会科教育研究室（担当）井門

TEL/FAX：018-889-2644 / Email：[idom@cna.ne.jp](mailto:idom@cna.ne.jp)